

平成 18 年度県民モニター第 2 回アンケート調査結果の活用状況等について

テーマ：都市と農山漁村との新たな共生

都市と農山漁村との交流

農山漁村地域でしてみたいことは、郷土料理などの食事、温泉などの観光との回答がどちらも 7 割を超え(72.7%)、山歩きなどの自然体験が約 7 割(67.8%)となっている。また、農山漁村地域に関する情報源は、「インターネット」が 6 割(62.6%)を超え最も多いが、「テレビ・ラジオ」が 5 割台半ば(56.4%)を超え、「新聞」「旅行雑誌等」「ポスター等」がそれぞれ 4 割を超えており、多様な媒体から情報を得ていることがうかがえる。

農山漁村地域に関する情報発信については、県のホームページや広報による情報提供に加え、7 月を目前に、県、市町、民間企業等で構成する『田舎暮らし・多自然居住支援協議会』を立ち上げ、様々な広報媒体を活用し、統一的・一体的な情報発信を行います。

平日は都市部、週末は農山漁村地域で生活するライフスタイル

平日は都市部で、週末は農山漁村地域で生活するライフスタイルに、6 割超(62%)が『関心がある』(『既に実践している』『少し関心がある』と回答した分を含む。)と回答しているが、実践するために何が重要であるかについては、「金銭的余裕」が 6 割超(61.4%)、「時間的余裕」が 5 割台半ば(55.4%)、「アクセスの良さ」や「安い家屋や土地」が 4 割台半ば(46.0%)など、実践に向けて様々なハードルがあることがうかがえる。

平日は都市部で、週末は農山漁村地域で生活するライフスタイルの阻害要因については、これまで行われた各種アンケート調査においても都市住民から同様の意見が多くあがっており、これらの阻害要因をできるかぎり取り除くことが重要であると考えます。

この中でも特に大きな阻害要因となっているのが「住宅の確保」であり、都市住民が居住できる物件について安定的に確保できる施策を講じる必要があります。

そこで、一定期間、都市住民が多自然地域に滞在し、地元住民との交流や田舎暮らしを体験しながら、居住物件を見つけるきっかけとすることをめざし、平成 17 年度から「多自然居住交流拠点整備支援事業」を実施しているところです。

また、都市住民が円滑に農山漁村での生活に移行できるのに役立つ情報を盛り込んだ『兵庫で田舎暮らし～多自然居住支援サイト～』の中の「物件を探そう」のコーナーで、各市町から寄せられた物件情報を取りまとめて紹介しています。周辺地図や写真などの掲載にも努めて、わかりやすさを心がけており、今後、さらに内容の充実を図っていきます。

「多自然居住」の広報

「多自然居住」の取組は、6 割超が「聞いたことがなかった」、3 割超が「内容までは知らなかった」と回答しており、「もっと広報紙等でアピールする」ことが必要との意見が多数を占めている。

「多自然居住」については、平成 13 年度に県民フォーラムを実施のうえ、報告書をまとめ、平成 14～16 年度に 3 町でパイロット事業を実施し、平成 17 年度以降、交流拠点の整備や広域活動団体への助成などを実施してきたところですが、まだまだ県民の方々に周知されていないのが現状です。

そこで、平成 18 年度には、県のイベントである「ふれあいの祭典」でPRブースの設置や県の広報誌である『ニューひょうご』や広報番組の『週刊ひょうご“夢”情報』でPRするなど、機会あるごとにPRしてきました。

6月を目処に、県、市町、民間企業等で構成する『田舎暮らし・多自然居住支援協議会』を立ち上げ、様々な広報媒体を活用し、統一的・一体的な情報発信を行います。

「多自然居住」の情報提供

多自然居住を実践するために、体験者の声、行政の支援、体験事業などの情報を希望する意見が多く寄せられました。

『兵庫で田舎暮らし～多自然居住支援サイト～』の中の「田舎暮らしの先輩から学ぼう」のコーナーで、多自然居住を実践する際の参考にしていただこうと、成功談などの事例を含めた体験者の生の声を掲載しています。

行政の支援情報も「サポートを受けよう」のコーナーで、各市町の助成メニュー・奨励金制度など関連する支援情報を掲載するとともに、NPOなど民間の支援情報も紹介しています。

また、「困ったときは相談しよう」のコーナーで、各市町の相談窓口を紹介しており、多自然居住をサポートしています。

さらに、多自然居住を試行的に体験できるよう、本サイトで、市町やNPOが実施している田舎暮らしや農村体験事業の紹介を検討していきます。

本サイトは、平成 18 年 4 月に立ち上げましたが、多自然居住希望者のニーズを踏まえながら、希望される情報を提供できるよう、今後、掲載内容の充実を図っていきます。

県では、農産物直売所の設置や市民農園の整備など、県民生活と農林水産業をつなぐしくみづくりとして、「地産地消」や「楽農生活」も推進しています。「地産地消」や「楽農生活」を紹介したホームページ『緑の休暇』と『兵庫で田舎暮らし～多自然居住支援サイト～』とのリンクなど、より一体的でわかりやすい情報提供を推進していきます。